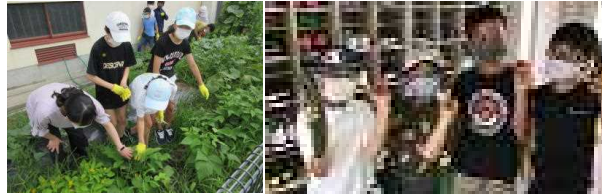


# 学校だより



【夏野菜の収穫 左:5年生インゲンマメ,右:2年生ミニトマト・キュウリ】

1学期も最終盤に入っています。前庭のへちまの蔓は2階のベランダまで届き、校庭では蝉の鳴き声が響くようになってきました。先週には台風(温帯低気圧)が近づいたり、熱中症アラートが発令される日も何回かありました。夏休みを前に夏本番を思わせる日が増えてきました。



徒歩通学の子供たちは、暑い中、頑張って登校しています。低学年や長い道のりを歩く子の中には汗をたくさんかいたり、顔が赤くほてったりしている子もいて、朝から熱中症が心配される日もあります。気温が上がる日中は、なおさらその危険性が高まります。熱中症警戒アラートが出され、暑さ指数が31(「危険」)を超える日には、運動場での遊びもストップしています。外遊びが好きな子供たちにとっては残念だと思のですが、室内で過ごすことが増えたためか、嬉しいことに最近読書カードの更新が増えています。



本校では、下学年は20冊ごと(上学年は19冊ごと)に色の違う読書カードが、用意されています。最初は白、次に水色、さらにピンク→黄緑→黄色・・・と、全部で10色(上学年は4色)あります。私が手渡した中では、1年生の子の黄色が最高で、すでに80冊は読み終えたということが分かります。すごい読書量ですね。(毎月の図書館日より「ちえじまっこ」でも紹介されています。)また、朝会では、学年で指定された本をすべて読み切った完読賞の表彰者も増えています。猛暑の日の休み時間には、「晴耕雨読」ならぬ「涼遊暑読」(造語です)の人が増えているようです。

今、放課後には、3年ぶりに開催が予定されている吉野川市水泳能力検定会への出場や、泳力の向上をめざして13人の子供たちが水泳練習に取り組んでいます。小学生や中学生といった、体力や運動神経が発達しやすいこの時期に、力いっぱい運動に取り組むことで、めざましい伸びがみられることがあります。

社会の情報通信技術やコンテンツが発展し、身の回りにはゲームや動画など、子供にも大人にとっても楽しいものがたくさんあり、時には時間を忘れて没頭してしまうこともあるでしょう。ただ、幼少期は一生の中で、発育がもっとも盛んな時期でもあります。「鉄は熱いうちにうて」というように、子供たちにはこの時期を大切に使ってほしいものです。

私などは発育曲線的には、身体の伸びしろはほとんどないですが、諦めの悪い私は、できることは何歳になっても増やせると思っています。あの人気予備校講師・タレントの林修さんの名台詞を忘れずにいたいものです。

” (勉強や運動)いつやるの? ” ” 今でしょ! ”

